

鎌倉市津波浸水予測図

暫定版

この「津波浸水予測図（暫定版）」は、平成23年12月に神奈川県が想定を行った「津波浸水予測図（素案）」を基に作成しました（24年3月現在）。

市内の浸水想定域とともに、公共施設や避難時の目標物をご確認ください。

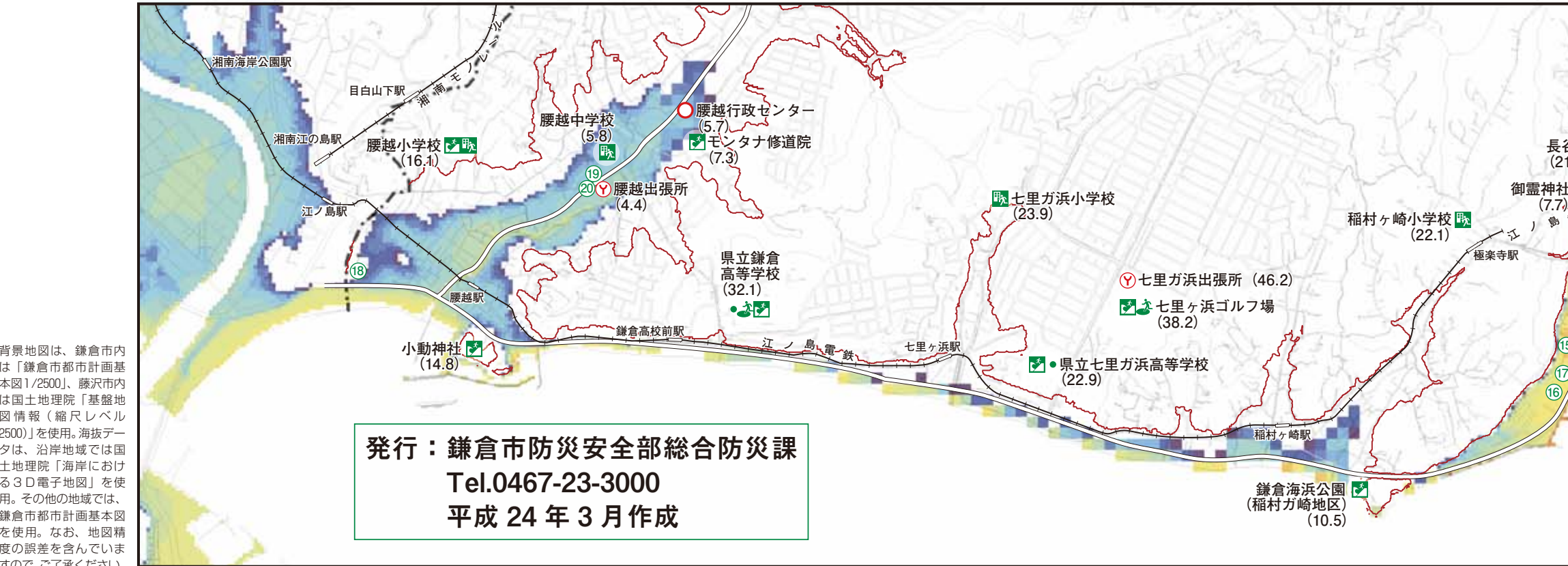
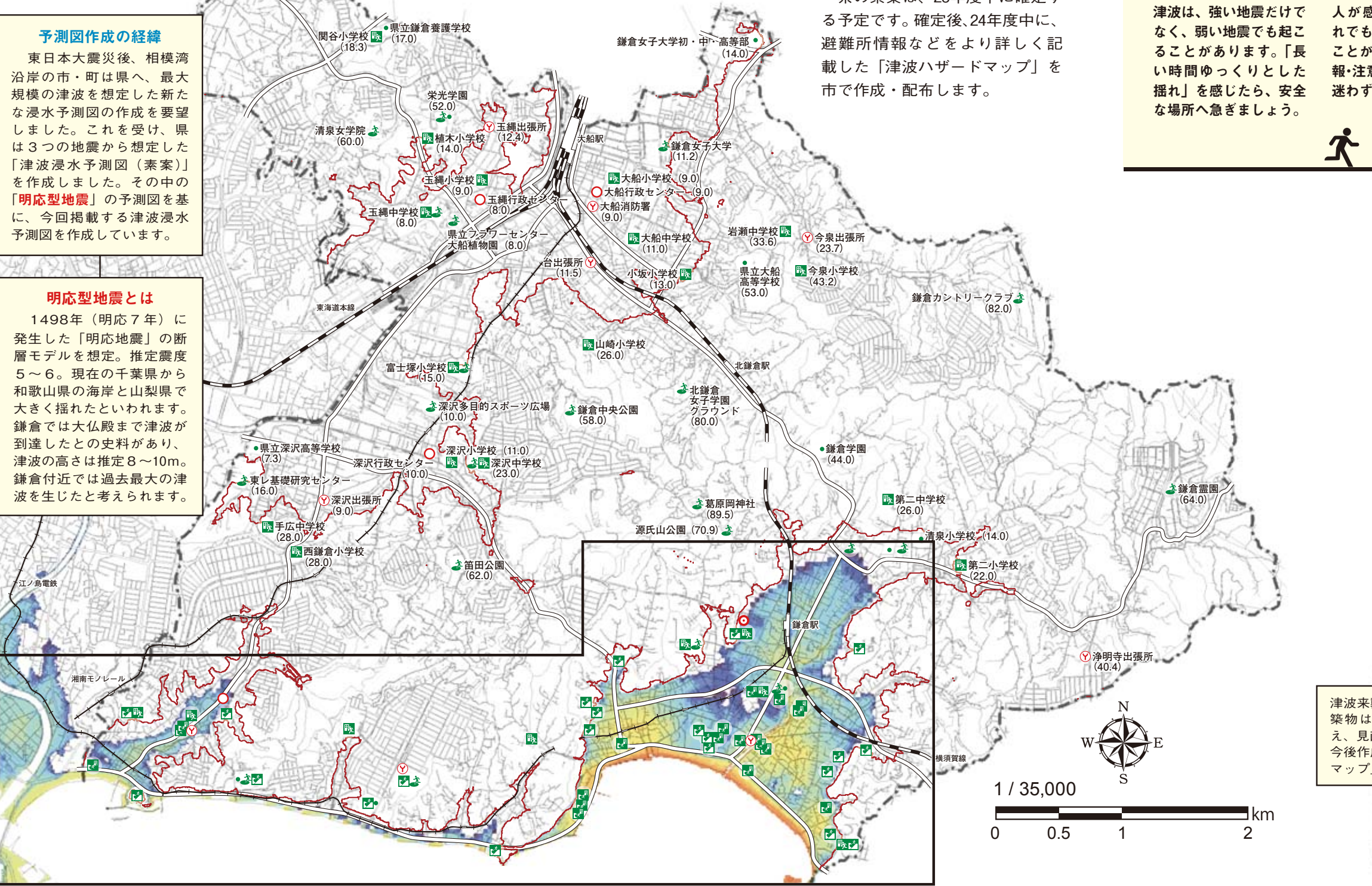
県の素案は、23年度中に確定する予定です。確定後、24年度中に、避難所情報などをより詳しく記載した「津波ハザードマップ」を市で作成・配布します。

**予測図作成の経緯**

東日本震災後、相模湾沿岸の市・町は県へ、最大規模の津波を想定した新たな浸水予測図の作成を要望しました。これを受け、県は3つの地震から想定した「津波浸水予測図（素案）」を作成しました。その中の「**明応型地震**」の予測図を基に、今回掲載する津波浸水予測図を作成しています。

**明応型地震とは**

1498年（明応7年）に発生した「明応地震」の断層モデルを想定。推定震度5～6。現在の千葉県から和歌山県の海岸と山梨県で大きく揺れたといわれます。鎌倉では大仏殿まで津波が到達したとの史料があり、津波の高さは推定8～10m。鎌倉付近では過去最大の津波を生じたと考えられます。



津波への心構え5カ条

- 1 地震が起きたら、まず避難！
- 2 揺れがなくても津波は起こる！
- 3 情報を待たずにすぐ行動！
- 4 浸水は深さ15cmでも危険！
- 5 警報・注意報解除まで海岸に近付かない！

津波は、強い地震だけでなく、弱い地震でも起こることがあります。「長い時間ゆっくりとした揺れ」を感じたら、安全な場所へ急ぎましょう。

人が感じないような揺れでも、津波が発生することがあります。津波警報・注意報が出されたら、迷わず避難しましょう。

津波は地震直後に起こる場合もあります。テレビやラジオの情報を待っている時間はありません。情報は、安全な場所に避難してから確認を。

水中では歩く速度が落ちます。少しの浸水でも、逃げ遅れる原因になります。深さ15cm程度でも、津波で水が押し寄せると勢いで足元をすくわれることがあります。浸水には警戒し、素早く行動を。

津波警報・注意報が発表されたらすぐ海岸から避難し、解除されるまで絶対に近付かないください。地震発生から短時間で襲ってくる津波や、最初の波より次の波の方が高くなる津波もあります。自己判断は危険です。



津波来襲時の緊急避難建築物

番号	避難建築物名称	所在地
①	医療法人社団芳洋会 あっとほーむ鎌倉	材木座 1-5-4
②	鎌倉ヒロ病院（新館）	材木座 1-7-22
③	鎌倉バンビル	材木座 3-5-16
④	野畑ビル	材木座 3-5-23
⑤	スタンレー サバーバン オフィス サーフサイド	材木座 5-4-24
⑥	ビラ・かまくら	材木座 6-8-7
⑦	鎌倉市消防本部	由比ガ浜 4-1-10
⑧	由比ガ浜ハイツ	由比ガ浜 4-4-40
⑨	鎌倉わかみや	由比ガ浜 4-6-13
⑩	第一小学校	由比ガ浜 2-9-55
⑪	鎌倉女学院	由比ガ浜 2-10-4
⑫	由比ガ浜コーポ 1号	由比ガ浜 2-24-2
⑬	由比ガ浜コーポ 2号	由比ガ浜 2-24-2
⑭	斎藤ビル	長谷 2-16-15
⑮	軽費老人ホームさしほホーム	坂ノ下 31-5
⑯	鎌倉パークホテル	坂ノ下 33-6
⑰	特別養護老人ホーム 鎌倉清和由比	坂ノ下 33-3
⑱	江ノ島ビーチハウス	腰越 3-11-6
⑲	腰越中央医院	腰越 4-8-29
⑳	腰越消防出張所	腰越 4-9-12

**凡 例**

- 市役所
- 行政センター
- 消防署・出張所
- ミニ防災拠点
- 地震や大雨等の際に、早期の段階で開設する避難所
- 避難所
- 状況に応じて市の判断で開設
- 広域避難場所
- 火災の延焼拡大による煙などから一時的に身を守る場所
- 津波来襲時緊急避難空地
- 津波来襲時緊急避難建築物
- ※拡大マップ上では数字で表示（右表）

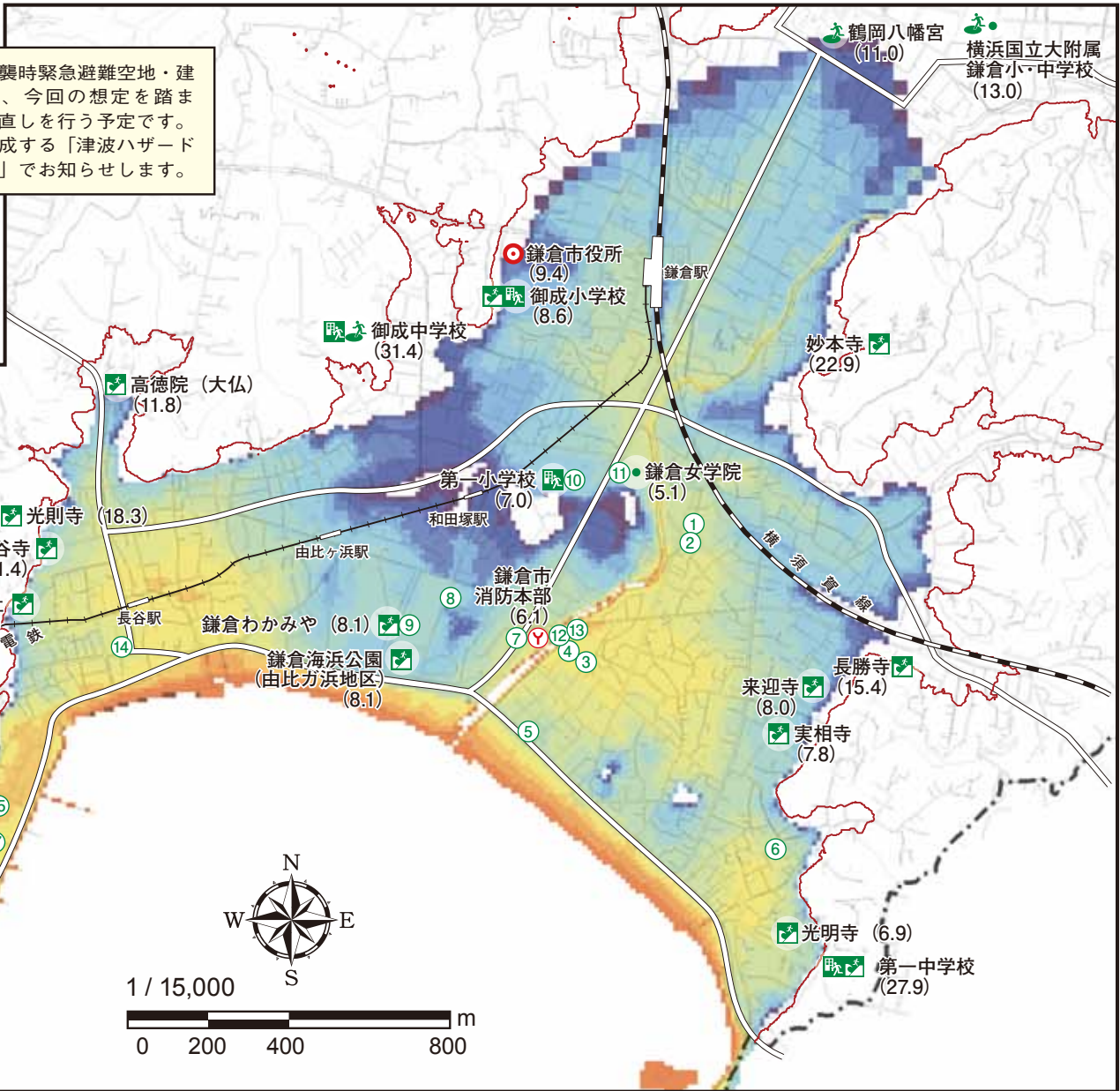
**浸水深（m）**

- 10m 以上
- 9m 以上10m 未満
- 8m 以上9m 未満
- 7m 以上8m 未満
- 6m 以上7m 未満
- 5m 以上6m 未満
- 4m 以上5m 未満
- 3m 以上4m 未満
- 2m 以上3m 未満
- 1.2m 以上2m 未満
- 0.8m 以上1.2m 未満
- 0.5m 以上0.8m 未満
- 0.15m 以上0.5m 未満
- 0.15m 未満

15 m 等高線

（ ）内の数字は海拔です（単位：m）

津波来襲時緊急避難空地・建築物は、今回の想定を踏まえ、見直しを行う予定です。今後作成する「津波ハザードマップ」でお知らせします。



背景地図は、鎌倉市内は「鎌倉市都市計画基本図1/2500」、藤沢市内は国土地理院「基盤地図情報（縮尺レベル2500）」を使用。海拔データは、沿岸地域では国土地理院「海岸における3D電子地図」を使用。その他の地域では、鎌倉市都市計画基本図を使用。なお、地図精度の誤差を含んでいますので、ご了承ください。

発行：鎌倉市防災安全部総合防災課  
Tel.0467-23-3000  
平成 24 年 3 月作成